

平成23年度 第3回 物理学教育FD／ICT活用研究委員会 議事概要

- I. 日時：平成23年8月4日（木） 午後13時30分～午後17時00分
- II. 場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者：藤原雅美（委員長）、川畑州一（副委員長）、松浦執（アドバイザー）、徐丙鉄（委員）、寺田貢（委員）、満田節生（委員）
井端正臣（事務局長）、森下幸平（主幹）、松本 忍（職員）

IV. 配布資料

- (1) 会次第
- (2) 平成23年度 第2回 物理学教育FD／ICT活用研究委員会議事概要
- (3) 平成23年度物理学教育FD／ICT活用研究委員会名簿
- (4) ① 物理学教育における学士力の考察
- (5) ② 学士力の実現を目指すICT活用授業の開発モデルの例示（メモ）
- (6) ③. 1 物理学の教育改善モデル（案）
- (7) ③. 2 物理学の教育改善モデル案2
- (8) ④. 1 物理学教育における教育改善モデル（中間まとめ案1）事務局編集
- (9) ④. 2 物理学教育における教育改善モデル（中間まとめ案2）事務局編集
- (10) 参考1 国際関係学の教育改善モデル（中間まとめ案1）
- (11) 参考2 国際関係学の教育改善モデル（中間まとめ案2）
- (12) 参考3 英語教育における教育改善モデル（中間まとめ案1）
- (13) 参考4 英語教育における教育改善モデル（中間まとめ案2）

V. 検討事項

議事に先立ち、事務局より配布資料の確認、委員長より議事録担当者の指名が行われた。

1. 事務局より、フォーマットの統一のためにモデル案に関して事務局で編集を行ったことが説明された。最終的な報告書には授業提案等の完全な記事を掲載するが、ピア・レビュー版は簡易版とすることが説明された。
2. これに関して次のような意見交換が行われ、同時に④.1の文章修正を行った。
 - 授業の具体的なイメージは削除するのか。
 - 原案を活かして具体的事例を書くのがよい。
 - ④1の1.到達度(1)~(3)が、一般レベルに求められる「能力」として「知っている」と表記されているが望ましくない。
 - 一般レベルは、今回ははずして、専門レベルで作成することにしたい。これに伴い、上の(1)~(3)は「~について説明できる」との表記にする。
 - 「授業のねらい」の文章がわかりにくい。
 - これは基本概念が理解できていない、という問題意識から発したものか。
 - 漠然と基礎の学習を行うので、専門との関連が分からない。
 - 専門との関連を強めるには、専門教育教員と基礎教育教員との統合授業を行う必要がないだろうか。

基礎基本の授業に対しては学生が暗記学習に陥りやすい。3年生で専門が入ったときに基礎の振り返り授業を入れてもあまり効果がない。

- 企業、事業所の現場と連結した授業はできないか。
- いろいろなジャンルの人がその分野の課題などを紹介するのもよい。
- 基礎基本の知識が社会でどう活用されているかを知る必要がある。
- 基礎と専門の教員の連携のプラットフォームを作る必要もある。
- 基礎を担当するのは主として理学系の教員である。工学専門の教員とは知識のギャップがある。
- 授業計画として、特定年次の基礎教育に限定されないものを考える。
- グループワークで、専門分野との関連づけ学習を行う。
- 関連性を重視した授業のシナリオを示す必要がある。
- 前提知識が不十分な学生には、習熟度別グループワークを支援する e-Learning で基礎力補強する。

3. 以上の議論で作成した④-1 の修正案の流れを受け継いで、④-2 についても修正することとした。

- 自然現象を「意識して」観察させる授業はどのようなものか。
- 現象に対して、物理的な問題が何かを認識させ、関連する物理法則が何であるかを考えさせる。この論理展開の前段階として何かができないだろうか。

4. ④-1、④-2 についての修正原稿を担当委員が作成する。事務局提出期限を 8 月 10 日（水）とし、8 月 12 日（金）にアンケートに出すこととした。

5. その他

委員より福岡大での日本リメディアル教育学会（日時：2011 年 9 月 2 日、3 日。場所：福岡大学 A 棟 〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈 8-19-1）の案内があった。

VI. 次回の委員会開催日は 2011 年 8 月 29 日または 31 日とする。

（その後の調整

により、次回委員会は 2011 年 8 月 29 日（月）12:30~15:30 と決定された）

以上